

うらじやり

……仮設支援情報……

お世話になりま
した。 ひかる



第15号 発行日 97.9.30

阪神・淡路大震災

「仮設」支援NGO連絡会

〒653 神戸市長田区御蔵通5-5

TEL:078-578-6921 / FAX:078-578-6923

E-mail: ngoteam@mb.osaka.infoweb.or.jp

口座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

ガレキは走る

キャラバン報告 九州編

「おいどんキャラバン in 九州」



ひよんな事から、私は全国キャラバンin九州の運転手及び雑用に大抜擢されまして3月19日から3月24日まで行かせていただく事に成りました。

私は現在、「ちびく3救援ぐるうぶ」というボランティア団体「心と心のキャッチボール・ハートtoハート」を売り物にしている団体に属しておりまして、若者頭をつとめさせていただいております。

私事で恐縮ですが、出身は四国・讃岐の国、観音寺という愛と希望・夢がはぐくむ年寄りばっかりの町の出身の若者です。陽気に治めると書いて「陽治(ようじ)」と読みます。

なぜ、私が選ばれたのか？それはなぜでしょう？勤のいい人はもうお気づきですね。そうです。私は以前九州にすんどった事があつとすばい。そこで白羽の矢が当たったのはもうおわかりでしょう。

はい！それは良しとして他の同行人を忘れてはいませんか？そうです。他のメンバーは兵庫は荒田の出で、現在北区に居を構える、「ちゃきちゃきの神戸つこ」・「ひげぼうぼう」・「不浪者顔負け」・「やくざたじ」・阪神・淡路大震災「仮設」支援NGO連絡会&ちびく3救援ぐるうぶ代表の村井雅清さん。

そして紅一点、愛知は安城出身で、『じゃんだらりん』と叫びつつ、阪神・淡路大震災「仮設」支援NGO連絡会でデスクワークのスペシャリストとして活躍中の明るく楽しく元気が一番、【寝起きの悪さは天下一品】の山田光さんです。

時は3月19日。夕刻ガレキをトラックに積み、いざ出陣でございます。福岡県経由で、夜中に博多に着きまして、ちびく3にいた鈴木君、ホーリー・ネームは「ひよこ」さん宅で仮眠させていただき、朝方、日付は変わって、3月20日熊本県は大津町役場に到着しました。

大津町役場に到着し、役場の大塚さん・スーパーデレクターが、出迎えてくれました。

役場に到着するはいいが、思いつき改装中で、どこが神戸かわからない程の状況で、イスにすわるとほこりが「ボウ〜ン」とまう状況でした。ひっくり、ひっくり、陽治君でした。

近くの文化ホールに移動し、フォーラムを屋からやることになりました。隣では、倫理学研究所という、あやしげな団体もフォーラムをやっており、私は震災フォーラムの受付男をやっておったのですが、訳のわからんまま受付を間違って、ちびく3のハガキや縮刷版を買っていく人がいました。

倫理学研究所の人たちの2割位の人たちは間違って受付をし、さわやかに私たちに挨拶をして帰っていくおばちゃん達の姿がありましたが、自分は満面の笑顔を精一杯返すのが、関の山でした。

それはよしとして、盛況に終わり、いざ泊まる段取りとなると、村井さんと山田さんは、「エアポートホテル」というゴージャスなホテルで、私は役場の大塚さんのイキなはからいで、大塚さん宅にホームステイという形でまた違った意味で、ゴージャスな一夜をすごすことになりました。

とにかく、眠い一日で、大塚さん宅の息子さんと風呂屋に行き、帰ってきてバタン・キューでした。「親も親なら子もよくしゃべる」・「カエルの子はカエル」と思った今日一日でしたよ〜んだ。

3月21日、予定していたフォーラムが中止になり、1日、時間が空いたので、阿蘇に行き、ゆつくりして知り合いのキャンプ場で泊めてもらうことにしました。

お天道様の気分が悪くあいにくの雨になってしまい、阿蘇は霧で何も見えませんでした。「残念無念だ、ばかや3つ！誰か何とかしてくれよ！おねがいですよ！」と心で思う陽治君でした。

その夜はキャンプ場で泊まり、吉井さんというおやつさんにお世話になりました。吉井さんいわく、今年は何故春分の日が20日になっているかの答えを淡々と語ってくれました。

なぜかわかりですか？そうですね。今年は閏年だからですね。ふむふむの陽治君でした。さすが吉井さん、「ありがじゅう(10)」という気持ちです。

続く

続々 キャラバン報告 九州編 「おいどんキャラバン in 九州」

次の日の朝、3月24日一路、鹿児島に向かいました。あいにくの朝からの雨でしたが、鹿児島島の西郷どんに会えると思うと、心はウキウキです。でも桜島大根のような人に会えると気分はクールダウンですので、気をつけていくことにしました。ハッハッハッ！

フォーラムの会場が鴨池球場の隣の鴨池公園ということで、昔、この球場で試合をしたことを思い出して、にやにやしてから現地に入りました。

会場に到着すると、仮設住宅支援連絡会・切込隊長「笑顔ふりまき、元気であいさつ、天に変わっておしおきよ〜ん」の中野玲さんが先のり先発隊ですでにボランティアを行っていました。

ここは遅れをとってはいけないということで、私はすかさず、目の前にある献血コーナーの中の献血車に飛び込み「血を抜いて下さい」とお願いし、鹿児島市に400ml血を置いていくことにしました。まずこれで一安心です。

そして、ガレキをおろし、一通り準備も終わり、お昼ご飯を社協の人たちにお呼ばれして食っていると、なんと目の前にうさぎちゃんが踊りながら横切っているではありませんか。俺は「これだあ」と思いごはんつぶを豪快にはきながらうさぎのあとを追かけました。

「おい、うさぎ君のぬいぐるみを着た君、ぬいぐるみは他にもあるかい」私が問うと、うさぎ君は、「おおかみ君が一体余っていますよ」とのことでした。私は「しめたあ」と思い、すかさず「ズボンを降ろし」、おおかみ君に変身しました。

子どもに夢を与えるチャンスだと陽治君は思い、鴨池公園を縦横無尽に走りまわりました。転倒して子どもに踏まれまくるという不運がありましたが、あいにくの雨もあがっており、さわやかな献血及び、おおかみ君日和でした。

そのころ、村井さん、山田さん、中野さんは、フォーラムを着実に成功させておりました。

私はフォーラムそっちのけで、おおかみ君のぬいぐるみにはまって、はまって、はまってしまいました。こんな事では、西郷どんにあわせる顔がないと思いつつ、子どもと握手をくり返していました。

握手をくり返していくうちに「ハートtoハート」・「顔と顔とのお付き合い」・「人に笑顔を」を与えていると、自分も自然に楽しくなってきた、喜ぶこと、微笑むことの大切さを改めて知りました。

一方フォーラムも盛況で、鹿児島の人はいきなり入るように聞いておりました。やはり九州の方は震災の情報は少ないようです。こういうフォーラムに足を運んで下さる人たちを大切にしたいですね。

そう感ずる、鹿児島のおやつ時でした。

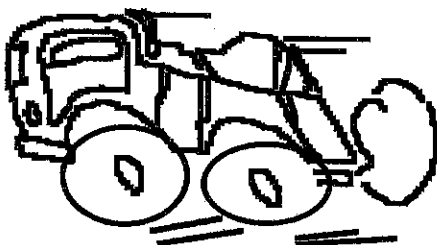
3月24日鹿児島も無事終わり、宮崎からフェリーに乗り、3月25日神戸に到着いたしました。神戸の天気は雨でした。

ちひくろに戻り、公園内の水たまりをのぞいていると、走馬燈のように九州の出来事が浮かんできます。

やはり今後からは人選の誤りが無いようにした方が良いでしょう。口には出しませんが、村井さん、山田さんはかなり疲れてました。「おいどんキャラバン in 九州」の全てに関わった人たちに心から、お礼を申し上げます。お手数をおかけしました。神戸の天気はブルーです。

大いなるバカ

By 「陽」 氣に「治」める 陽治



じやりみち編集部から

ながらく「じやりみち」の編集長を務めてきたひかるちゃんにかわって、10月よりは植田が新しく編集を担当することになりました。あいにく彼女ほどのセンスは持ち合わせていませんが、精進したいと思いますので、よろしく願います。ひかるちゃん、今までありがとうございました。ついでにこれからもよろしく。

続 キャラバン報告 九州編 「おいどんキャラバン in 九州」

そして夜が明け、22日、今日は夜からフォーラムという事で、夜までフラ〜ツと景色を眺めるのに最高な大観峰という所によりました。

今日もあいにくの雨です。3人の気持ちはやはりブルーであります。私は運転をしながら明るく振る舞いますが、2人の顔をミラー越しに眺めると、やはり、天気の良いんでしょう、どこか淋しそうであります。

空の天気がブルーにならないかなあと窓を開け天をながめる。大西君のお昼時でありました。

気晴らしに温泉に入ってさっぱりした気持ちでフォーラムに望もうということになり、「さっぱり」・「すつきり」・「ドボ〜ン」と、ブルーな気持ちをレッドに切り替えて行きました。

夜、熊本県青年会館で、ガレキを少々降ろし、10人位集まっていたさき、ガレキを囲むようにして丸くなり、フォーラムをやりました。皆さん、食い入るように聞いていらつしやいました。

フォーラムも無事終わり、次の日が水俣ということなので、その日のうちに熊本市から水俣市まで走ることにになりました。

いざ、水俣でございます。村井さんの知り合いの谷さん宅で今晚は泊まりという事になりました。山の中の家で、素人ではとても辿り着けないような場所でした。

谷さん宅は訪れると犬が寄ってきて、手荒い歓迎を受けました。「ワンワン」と吠えたのはやはり、メンバーが悪かったのでしょうか。私一人なら、しつぽふりふり状態だったのにとと思う水俣の夜でした。

ここだけの話ですが、水俣に着く間、山田さんと村井さんは寝ていましたが、村井さんはいびきをかきまくり、山田さんは寝言を言いまくり、まるで、トラックの中は王子動物園か須磨水族館状態でした。

谷さん宅で風呂をお呼ばれして、この日もバタン・キューでありました。

そして、夜が明け23日。今日は、春から縁起がいいやという感じで、天気が良かったとまではいかないが、春一番が吹き荒れる、小春日和な一日でした。

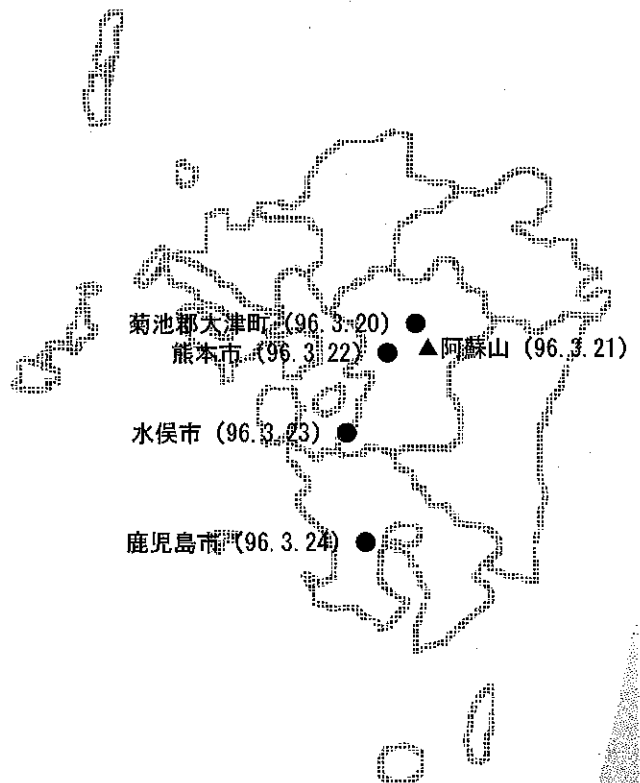
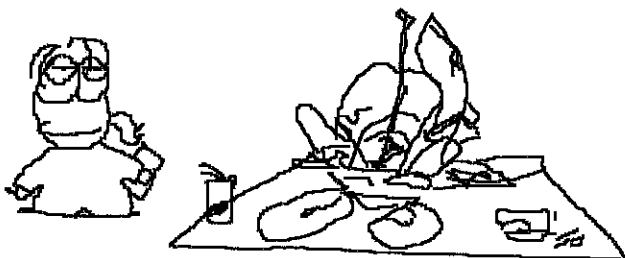
私は谷さんの家の前を散歩しました。「春一番、吹き荒れる。俺の心を熱くする」と胸躍らせながら散歩を終わらし、谷さん宅に戻りました。そして谷さん宅で飼っている犬の多さと猫の多さにびっくりし、名前を覚えられないまま、朝食をいただきました。

足早に朝食を済ませ、一路、水俣公民館に向かいました。昼よりフォーラムをし、ガレキを公民館前に展示し、2時間ほど、熱い語りあり、スライド投影ありと、水俣の人々も食い入るよう聞いておりました。

山田さんはガレキ展示の時は、芸術肌が爆発し、鷹が獲物を狙うが如く目を見開いて、集中して展示しており、村井さんとは違った意味で近寄りがたい雰囲気があります。感心であります。

その夜、もう一晩、犬・猫屋敷の谷さん宅でお世話になることになりました。

まだまだ続く……



キャラバン報告 九州編
「おいどんキャラバン in 九州」